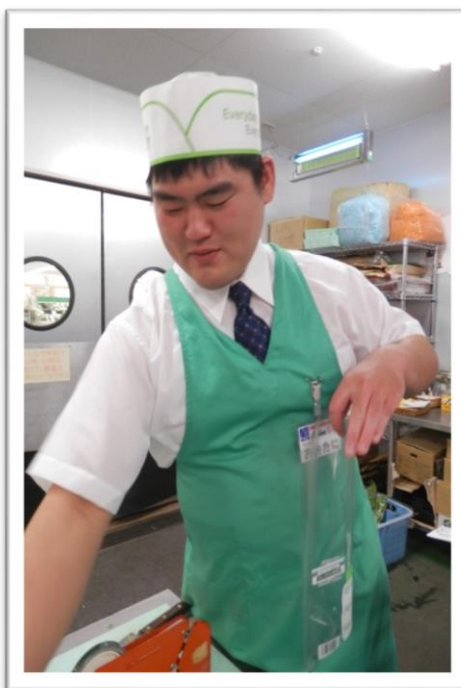


# 就労移行支援事業

本年度は既に5名の方が一般就労で卒業されました。

## 卒業生の声



### 「フレッシュフーズ駿河屋」様に 就職が決まった大谷さんの声

就職が決まるまでは、不安と焦りがありました。その中で実習をさせてもらい、仕事に対してのやりがいを感じ、仕事に行くのが楽しみになりました。仕事ができる喜びを感じました。

今回就職が決まって、安心と喜びの気持ちでいっぱいです。これから新たな場所で、自分の力を発揮できるように頑張りたいです!!!

### 「木童工房」様へ施設外支援に 行っているUさんの声

最初はとにかく不安で仕方がありませんでした。

しかし、木道工房の皆さんは自分のことを理解して下さり、無理のないペースで作業をさせて頂いています。

一つの商品を磨き、オイル塗りをする工程を覚えて、完成させることが出来るようになりました。

「習うより、慣れよ」という世界です。「もっともっと仕事を覚えたい!」と言う意欲が出てきました。



完成品

## 就労継続支援B型事業 あじさい会活動報告

2月 餅つき会



毎年恒例の餅つき会に参加しました。餅つきに挑戦するメンバーさんは寒い中、汗をかく位頑張ってくれました。そんなお餅はものすごく美味しかったです。

3月 調理実習



メンバーの皆さんが毎回楽しみにしている調理実習を行いました。慣れない調理の作業にも積極的に取り組まれていました。自宅でも挑戦される方が増えればと思います。

4月 お花見



あいにくの雨ということで、作業所内でレクリエーションを行いました。手作りのパズルやトランプなどをして楽しみました。来年は晴れてくれる事を祈ります。

5月 グランドゴルフ



外に出て、身体を動かそう!という事で、グランドゴルフに行ってきました。天気にも恵まれ、楽しく過ごすことができました。

6月 ボーリング

昨年、育成会主催のボーリング大会に参加されたメンバーさんから、あじさい会でも是非行きたいという意見が有り、ボーリングを企画しました。スコアを競って真剣に取り組まれる姿が印象的でした。今回、写真を撮り忘れたしまい、申し訳ありませんでした。

7月 七夕祭り



季節を感じようという事で、はじめて七夕祭りを企画しました。短冊に願い事を書いたり飾り付けを作ったり、レクリエーションをして楽しみました。こういった季節を感じられる行事は来年も続けていけたらと思います。





## 防災訓練を行いました

5月29日に、青空作業所を利用されている方々と防災訓練を行いました。火災報知機のベルを鳴らして、避難訓練を行い、その後は水消火器を使い、消火訓練を行いました。

避難訓練では、実際にベルを鳴らしたことで緊張感を持ちながらも慌てることなく取り組むことができました。

今回は11月に予定をしています。今回のように意識を高く持ち、取り組めるよう準備をしていきたいと思っております。



## 普通救命講習を受講しました

去る7月4日、青空作業所において高山市消防本部より大塚清輝氏を講師にお招きし、普通救命講習を職員9名が受講しました。

応急手当全般についてテキストで学び、その後、一人ずつ胸骨圧迫、人工呼吸及びAED装着について演習を行いました。

私たちは日々、利用者の安全については最大の注意を払っていますが、それでも事故等は発生してしまう危険があります。大切なことはいざという時に、如何に冷静に正しい判断と行動が取れるかだと思います。

講習終了後、修了証を交付していただきました。スタッフは常時携帯し、講習で習得した知識とスキルを忘れないように意識していきたいと思っております。



### 古いカレンダーをお譲りください!!

青空作業所ではカレンダーの裏紙を利用して、リサイクル封筒の製作を行っております。現在、その材料が不足しております。ご家庭などで使用しないカレンダーがありましたら、是非お譲りください。青空作業所までご連絡下されば、取りに伺わせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

# 青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所  
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559  
<http://welcomhida.web.fc2.com/>  
平成27年 8月 7日発行 第25号



## 理事長挨拶

ごあいさつ

理事長 柏木 真司

夏本番、毎日暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

日頃より青空作業所の活動に対し、厚いご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、本号の移行支援事業の活動報告にも掲載されておりますが、うれしいことに青空作業所では本年度に入り、就職が順調に決まっています。要因としては、日々厳しい訓練に真摯に取り組む訓練生の努力と採用していただく企業のご理解が進んでいることがあげられます。

最近感じることは、企業の障がい者雇用に対する意識が非常に高く、ただ社会的責任だとか義務ということのみではなく、障がいのある方の働く力を評価したうえで採用していただいているということです。その為、採用前には必ず実習を行い、働く力をしっかり見極めていただいております。また、実習時における青空作業所スタッフの支援が非常に重要であり、採否に大きく関わっていると考えています。

青空作業所では、一つの就職支援モデルとして、継続支援事業B型の基礎訓練を経て、高山市障がい者雇用創出事業で働く自信を付け、事業終了後は移行支援事業で最終的な就職に向けたブラッシュアップを行い一般就労に繋げるといった流れを構築しています。本号で紹介している大谷さんもこのモデルに添った支援で就職を果たすことが出来ました。一見遠回りのように思われるかもしれませんが、この支援モデルがその後の職場適応に効果があると考えています。今後この検証も行って参りたいと思っております。

継続支援事業B型、移行支援事業及び高山市障がい者雇用創出事業が一体となって就労支援していくことが青空作業所の強みと考えています。今後も障がいのある方の多様な働くニーズに応えられる支援を行いたいと思っております。

